Field Story

河原内川（かわらうちがわ）河川（かせん）プール付近の川原（かわら）には一面にツルヨシの群落（ぐんらく）があります。ツルヨシは最初横の茎（くき）をのばし、次にその節から根と上に伸（の）びる茎を出して、どんどん増えていくことができます。そのため大水にあっても、ツルヨシの群落はすぐ回復することができます。そのほかオオイヌタデ・ジュズダマ・ミゾソバなどの水辺の植物がはえています。

川原にはハグロトンボやハンミョウなどの昆虫類が飛びまわっていますし、ナガコガネグモなどのクモ類が巣を作っています。

きれいな流れの中にはオイカワ・ドンコなどの魚が泳ぎ、きれいな声で鳴くカジカガエルもいます。また、カゲロウ類・トンボ類・トビケラ類などの幼虫（ようちゅう）がすんでいます。さらにゲンジボタルもいます。

川原の石はれき岩と砂岩（さがん）という石で、今からおよそ1億年前という、とても古い時代にできたといわれています。

Kawarauchigawa 河原内川

